2008/4
auは、サービスエリアマップにおいて、新800MHz帯のみのエリア（と思われる）を表示し始めました。
http://www.au.kddi.com/service_area/index.html
上記エリアマップで緑色で表記されているエリアです。
注意書きとして以下の表記があります。
----
注1) こちらのエリアは以下のau電話・データ通信カードがご利用いただけます。
［au電話］ INFOBAR 2、DRAPE、W6Xシリーズ、W56T、W55T、W54S、W54SA、W54T、Woooケータイ W53H、W53K、W53S、EXILIM ケータイ W53CA、W53T、W52CA、W52SH、W52H、ウォークマンfi ケータイ W52S、W52SA、W47T
［データ通信カード（通話はご利用いただけません）］ W05K
----
対象となるエリアはまだ狭いですが、これらのエリアにお住まいの方や出かける可能性のある方は注意したほうがよろしいかと思われます。

---
周波数（推定）

端末側送信　824.76〜829.23ＭＨz

・W47T（東芝）
・W46T（DRAPE)（東芝）
・W51PT（Ｐantech ＆ Ｃuritel）[未発売]
・W51SAPF（三洋）[未発売]
・W52CA（カシオ）
・W52H（日立）
・W52PT（Ｐantech ＆ Ｃuritel）[未発売]
・W52S（ソニーエリクソン）
・W52SA（三洋）
・W52SAPF（三洋）[未発売]
・W52SH（シャープ）
・W52Tpf（東芝）[未発売]
・W53CA（カシオ）
・W53H（日立）
・W53K（京セラ）
・W53S（ソニーエリクソン）
・W53T（東芝）
・W54S（ソニーエリクソン）
・W54SA（三洋）
・W54T（東芝）
・W55SA（INFOBAR 2）（三洋）
・W55T（東芝）
・W56T（東芝）

・W6xシリーズ

・WM-M200（セイコーインスツル）
・WM-M210（セイコーインスツル）
・W04K（京セラ）
・W05K（京セラ）
・KCMV（京セラ）
・KCMP（京セラ）

未対応（W5xシリーズ）
W51H
W51CA
W51P
W51S
W51SH
W51SA
W51K
W51T
W52P
W52K
W52T
W53SA

---
http://www.asahi.com/digital/nikkanko/NKK200708060001.html

日刊工業新聞ニュース

ＫＤＤＩ、３周端数帯対応端末を秋モデルから展開

2007年08月06日

ＫＤＤＩは今秋以降に発売する主要携帯電話端末に、既存の８００メガヘルツ帯に加え、新８００メガヘルツ帯と２ギガヘルツ帯の三つの周波数帯に対応する機能の搭載を明らかにした。また世界で最も普及する通信規格である「ＧＳＭ」も今後搭載していく。周波数再編に対応するとともに、世界標準端末と同一の機能を装備することで端末メーカーの開発、製造コストを軽減し国際競争力強化を支援する。

ＫＤＤＩは現在の第３世代（３Ｇ）携帯電話サービスを８００メガヘルツ周波数帯を中心に提供する。しかし総務省の周波数再編方針により２０１２年までに新８００メガヘルツや２ギガヘルツ帯への移行が決定。すでに基地局側の整備は進めており、０７年度は約２６００億円を新周波数帯整備に投じる。

これに合わせて端末側も対応を進める。米クアルコムが開発した３周波数帯に対応するチップセットを端末メーカーに搭載するよう要請。メーカー各社は今秋モデルから本格搭載する。世界で広く普及する第２世代携帯電話規格「ＧＳＭ」対応機能も搭載する方針だ。

こうした対応により今後販売される端末は３Ｇ、２Ｇとも世界市場に対応。利用者は自分の端末を海外に持ち出して通話ができるようになる。端末メーカーはＫＤＤＩ向けに開発した端末を海外市場向けに転用することが可能になり、海外展開が進めやすくなる。